

ひめだ高宏ニュース

NO.1073

15.10.6

日本共産党 和歌山市会議員

生活が苦しいとき

生活保護制度の活用を

生活保護は、憲法25条や生活保護法にもとづき、持ち家でも働いていても生活が苦しいとき、最低生活の保障を申請できる制度です。現在の生活保護法は、世界的な生存権（人間らしく生きる権利）保障制度を確立する運動の流れと、民主主義とくらしを守る国民の要求と運動のなか、1950年にできました。

生活苦や貧困、病気のためは個人の責任より、政治の低賃金政策や貧しい健康・医療・福祉政策、労働政策・経済政策など社会的要因によるものです。生活保護法はこうした社会的要因による生活苦から、国の責任で国民の生活を守ることを目的にしています。

基準以下の収入なら対象に

「健康で文化的な最低生活」に必要な月額額は、国が

フリーの人々

<856>



| 第1類(食費) | |
|---------|--------|
| 年齢 | 基準額 |
| 0~2 | 24,100 |
| 3~5 | 27,090 |
| 6~11 | 31,090 |
| 12~19 | 35,410 |
| 20~40 | 34,740 |
| 41~59 | 35,570 |
| 60~69 | 35,230 |
| 70以上 | 30,580 |

| 第1類の基準額 | 世帯人数(世帯) | 6~10人以上(世帯別) |
|------------------------------|------------------------------------|--------------|
| 合算に乘じる率 | 1人 2人 3人 4人 5人 | |
| 通減率 | 1.0 0.885 0.835 0.7675 0.714 | |
| 第2類(火熱水費) | | 世帯人数 |
| 世帯人数 | 1人 2人 3人 4人 5人 | |
| 基準額 | 36,880 45,360 53,480 55,690 59,370 | |
| 家賃・間代・地代 | | 世帯人数 |
| 世帯人数 | 1人 2人 3~5人 6人 7人以上 | |
| 基準額(上限) | 34,000 41,000 44,000 48,000 53,000 | |
| 基準額の算式 | | |
| 第1類の合算額 × 通減率 + 第2類の基準額 + 家賃 | | |
| (持ち家の場合は家賃はできません) | | |

基準額の計算

生活保護基準として決めています。

基準額は、世帯の年齢に応じた食費(第1類)と人数に応じた火熱水費(第2類)と家賃(世帯人数に応じた上限まで実費)を合計します。年金や働いて収入

今週のフリーの人々 (その19)

世の中にはエライ人が今年ノーベル医学賞に大村智(おほむち)北里大学特別荣誉教授が選ばれたというニュースをテレビで見ました。

1975年に静岡県伊東市の土壌から採取した新種の放線菌から発見した抗生物質「エバメクチン」から開発した「イベルメクチン」という薬がアフリカの風土病を予防したとか。大村教授と製薬会社は、年一回飲め



ひめだ高宏

があっても世帯のその合計が基準額以下の世帯であれば、その差額が支給されます。扶養義務者、預貯金、生命保険の有無なども関係します。申請前に相談を。ば効くその薬を無償で配布し、大勢の命を救っているということですよ。すごいなあ。でも、知らなかったなあ。こういうニュースを聞くと、私は、どれだけ世の中のこと知らんのやろかと思えます。80歳という大村教授の研究者らしからぬ謙虚さあふれるインタビューを聞いていて、世の中には、私の知らないエライ人がいっぱいいるんですよ。と思ったのです。

わかやま国体がおわりました

10月6日(火)2015
紀の国わかやま国体が終わりました。開催県として和歌山は男女総合優勝を果たしたということで、国体開催に関わったみなさん、おめでとうございます。

私、ひめだはら日、日本共産党南ブロック後援会長の山本さんに誘われて、紀三井寺競技場でやり投げ、走り高跳び、ハードル、リ

レーな陸上競技を見せていただきました。テレビで見たいところある、やり投げのディーン元気選手、村上

11月8日片男波で赤旗まつり

和歌山市南ブロック後援会と私、ひめだのテントでは、焼き鳥、生ビール、炊き込みごはんの販売とバザー、スーパースポーツ、など盛り沢山の計画です。

幸史選手、短距離の福島千里選手などを大型スクリーンで見たのが、ちよつとうれしかったです。陸上競技場で見るとは初めてで応援のかけ声に驚きました。

日本共産党

オール沖縄、オール日本
私は「オール沖縄」の闘いを学ぶため沖縄支援行動に参加しました。はじめに見学した瀬長亀次郎資料館で「オール沖縄」はここ1、2年で突然で

きたわけではない」という言葉に胸を衝かれました。土地を奪われ、さまざまに抑圧をうけてきた住民の怒りは計り知れません。沖縄の住民が「人間らしく生きるため」には住民がひとつになつて自らの権利をひとつひとつ獲得しなければならなかった、そうしながら一步一步進めてきた歴史が



さかぐちみち子
(参院選挙区)

「オール沖縄」に続いて「オール日本」へ、民主主義を求め、かぎり闘いは続くという確信を今回沖縄で得ることができました。

松坂みち子市議の沖縄報告

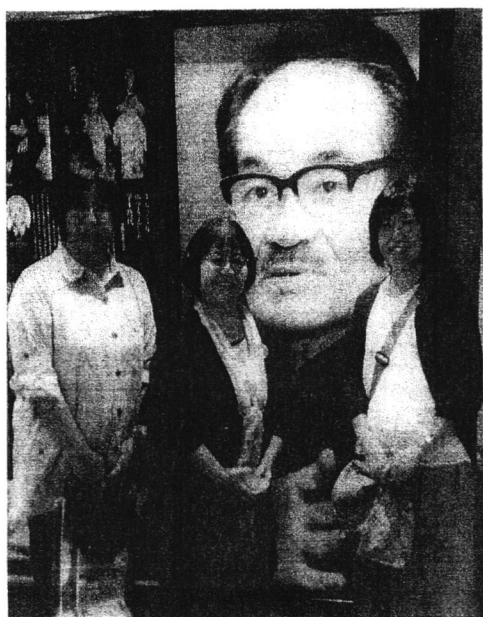
10月2、4日、安倍内閣
会議と県革新懇が共同企画した「沖縄のたたかいから学ぶ沖縄支援行動」の報告です。東牟婁、和歌山市、橋本などから19名が参加しました。

3日は、東牟婁市のヘリパッド建設反対運動支援、瀬長の浜より海での抗議行動観察、キャンプシユワブ前での座り込み支援。

4日は、アブチラガマ入場、沖縄平和祈念公園(平和の礎、祈念資料館見学)、最後は牧志公設市場へ。

2日は、「不屈館」(瀬長亀次郎の遺した資料を展示し、沖縄の戦前・戦後の苦難の歴史を伝える学ぶ資料館)に2013年に建てられた「見学、嘉数高台公園より普天間基地を眺望、道の駅「カデナ」より嘉手納

平和だ、琉球が日本に併合された戦争で犠牲になり戦後はアメリカの基地で苦難を強いられた島民のたたかいがオール沖縄の原動力だと知りました。



「不屈館」瀬長亀次郎さん(日本共産党副委員長、参院議員(1997-2001))の写真の前で、左側、松坂みち子市議、右側、さかぐちみち子参院選挙区民神、中央は、不屈館館長の内村千尋さん(亀次郎さんの次女)